

# 要求仕様書

## 全体概要

### システムの概要

照明やテレビを既定の時間になると稼働・操作する。照明の動作とTwitterを連携させて起床時間や睡眠時間を他のユーザーと共有することができる。

### 製品の機能

使用者が既定の時間以降に照明を消したとき、Remo3のセンサーから照明データを取得し、照明を消した時間をスプレッドシート上に記録する。さらに照明データを取得したとき、自動的にTwitterで「おやすみ」とツイートする。その後、既定の時間になると、使用者のテレビなどを自動的に稼働させ、使用者を起こすように音を出す。Remo3の人感センサーを用いて、使用者が起きたかどうかを観測する。10分以内に観測できたら、観測できた時間をスプレッドシート上に記録し、スプレッドシートに記録した時間を用いて、Twitterで「おはよう。本日の睡眠時間は〇〇です」とツイートする。10分以内に人感センサーで観測できなかったら、Twitter上に「二度寝をしています。。。｣といった、二度寝ツイートを行う。

### 想定する利用者の特定

このプログラムは、すべてのTwitterユーザーが対象であり、特に睡眠を自身で管理できない人、自身の睡眠状況をTwitterを通して発信したい人を想定している。例えば、登校のために早く起きなければならないが、ついつい二度寝をしてしまう人に対し、照明やテレビの機能を通して何度も起こせることが期待できる。

## 詳細

### 機能要求

- ・ユーザは、9時以降に照明が消えた際に記録される日付と時刻をスプレッドシート上で確認できる こと
- ・ユーザは照明が消えた時間にTwitter上で「おやすみ」と投稿されたことを確認できること
- ・ユーザが設定した時間になるとテレビを起動させることができること
- ・ユーザが設定した時間になると照明を起動させることができること
- ・ユーザが設定した時間から10分以内に人感センサーが反応すればTwitter上で「おはよう」と投稿 し、反応しなければ「二度寝をしています。。。｣と投稿されたことが確認できること
- ・ユーザが設定した時間以降に人感センサーが反応すればスプレッドシートにその時刻が書き込まれ たことを確認できること

## 非機能要求

- ・照明の作動時にツイートが1分以内(最小限のラグ)になされ、ユーザはそれを確認可能であること